

バセドウ病の患者さんへ

甲状腺は首の前部・喉仏のすぐ下の方にある幅約3cmの臓器で甲状腺ホルモンを産生しています。甲状腺ホルモンは全身の臓器に作用して、主に代謝作用(基礎代謝促進、体温調節、蛋白・糖・脂質・ビタミンなどの代謝)と全身的作用(成長の促進)を担っているホルモンであり、人間が生きていくのに必要不可欠なホルモンです。

正常な状態では、甲状腺ホルモンの分泌は、脳の下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン(TSH)によりコントロールされています。

あなたの病気は**バセドウ病**で、自己免疫疾患に属し、体の中に自分の体を攻撃する物質(抗体)が出来ることによって臓器に障害が生じます。バセドウ病の場合、抗TSHレセプター抗体が血中に存在し、それが甲状腺を無秩序に刺激することにより**甲状腺機能亢進症**(体の中にホルモンがたくさんありすぎる状態)を引き起こします。症状としては、甲状腺の腫れ、動悸、多汗、手足の振るえ、全身倦怠感、体重減少、月経異常等が出現します。

甲状腺の位置

